

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

5 vol.11



**ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660**

国際ロータリー第2660地区

2009~10年度ガバナー **大谷 透**



2009-2010 Governor's Monthly Letter

目次

表2	目次
1	ガバナーメッセージ 地区大会を終えて 参加者への感謝の思い ガバナー 大谷 透
2	クラブ社会奉仕委員長会議報告 社会奉仕委員長 片山 勉
3	GSE 第5870地区 アメリカテキサスチームをお迎えして 研究グループ交換委員会 委員長 吉川 邦英
4	IM第7組合同社会奉仕事業報告 ガバナー補佐 青木 禎一郎
5	青少年交換スキーツアー 青少年交換委員会 小林 博隆
6	米山奨学委員会・ロータリー財団
7	文庫通信
8	2010年度 3月度 会員数・出席報告
9	お知らせ
10	ガバナー事務所案内

国際ロータリー第2660地区
ガバナー

大谷 透



2年間かけて準備をしてきた地区大会が終わってほっとしています。丹羽健二大会実行委員長、木村雅彦大会幹事、四宮孝郎地区代表幹事をはじめそれぞれの部門を担当して頂いた会員の方々の責任感とロータリーを思う熱き思いに頭が下がりました。

事務局の方々も実によく働いてくれました。この方々の労力が報われるのは予定された参加者がすべて出席して大会を楽しみ、満足して会場を後にされることです。それ故にこの度ほど地区大会に参加して下さった一人ひとりの顔を見て、参加して頂いて有難うと言いたくなるような感情を持ったことはありませんでした。これは地区大会を主催してみて初めて知る体験でした。考えてみると今までの地区大会やIMへの自分の出席姿勢は、主催者の気持を思いやる余裕のない感性の乏しい関わり方であったと反省しています。

本地区大会にRI会長代理としてビチャイ・ラタクル元RI会長をお迎えできた事は幸運だったと感謝しています。スピーチは感銘深いものでした。大会に出席していても、いろいろな役回りのために、彼のロータリーを思う情熱と力強いメッセージに本会議場で直接触れる事の出来なかった方々には申し訳のないことでした。幸か不幸か講演は英語でなされたため、フル原稿の邦訳が地区大会プログラムの冊子に掲載されています。是非もう一度熟読して彼のロータリーに対する熱き思いに触れ、ロータリーを身に付けて頂ければ幸いです。

以下ビチャイ会長の講演からの言葉です。

- ・ 私たちの亡き後、次の世代のものがより効果的な奉仕を追及し続けるためにはどうすべきかの質問に答えるのが我々の使命。
- ・ 会員減少に関して：単なる会員増強の掛け声は私にとって薄っぺらなものに思えます。今は奉仕を必要とする人々に尽くす本当のロータリアンを増やし、イメージを高めるため入会資格に焦点を当てる時期です。
- ・ ロータリーに欠かせない基本理念は「職業奉仕に対する義務」です。ロータリアンが職業上の役割を社会的な行動に移さない限り、私達が生きる社会の改善は不可能。
- ・ ロータリーの永遠の原則は倫理的な実践を推進する事だと信じています。社会ではロータリアンが必要だと信じています。模範としてだけではなく、何が真実で何が公平かを精力的に問いかけるからです。
- ・ 貧困と病苦にあえぐダーム少年に、ロータリーの「きれいな水」の奉仕活動によって生きる希望が与えられた感動の物語。
- ・ ポリオ撲滅の目標を達成する時期に来ています。25年以上前に予防接種の必要を感じた人は、どのようにロータリー全体を動かすべく説得したのでしょうか？
- ・ 100年以上にわたり奉仕を通して夢を達成してきました。この成果は同じ信念の共有を証明しています。「ロータリーの未来はあなたの手の中に」という信念を。

日 時：2010年2月20日（土）13：00～15：00

会 場：葉業年金会館

出席者：大谷G、岡部GN、岩田PG、
地区社会奉仕委員会委員、
クラブ社会奉仕委員長、
児童養護施設 大阪市立「入船寮」城村様
合 計：69名

社会奉仕委員会
委員長

片山 勉
(大阪東RC)

今年度第2回クラブ社会奉仕委員長会議が2月20日に葉業年金会館にて69名のもと開催されました。

まず大谷ガバナーより全クラブの公式訪問を終えて、各クラブの積極的な社会奉仕活動について総括的なお話がありました。

続いて、委員長より下記報告がありました。

- ①「ハイチ大地震義援金」への各RCの理解と協力への謝辞。
- ②今年度地区補助金受付け終了報告及び次年度申請についての注意事項の説明。
- ③献血用バンダナの使用申込み（現在ガバナー事務所に900枚在庫あり）についての説明。
- ④過年度クラブ社会奉仕活動事例集（昨年11月に各クラブ宛に2冊ずつ配送済）の活用依頼。
・参加する、参加したくなる奉仕活動の事例紹介。
- ⑤スペシャル・オリムピックス（本年11月5日～7日に大阪で開催される知的障害者を対象とした国際的なスポーツ組織）の紹介。
…地区として推奨するものではないが、認知度を高め、クラブの卓話の題材にもなる為。

次に児童養護施設 大阪市立「入船寮」城村様より「錨を降ろす港のない子供達」の演題による講演がありました。内容は奉仕を受ける側のニーズとして「物質的援助」も重要ではあるが、「心と心のふれ合い」が求められていることを具体例をあげて話されました。

休憩をはさみ、IM組毎にわかれ「子供達の未来のために」をテーマにバズセッションが行われ、積極的な意見交換があり、テーブル毎の意見を集約し地区社会奉仕副委員長三名から報告しました。

- ・単年度か 継続か？
- ・年間予算額
- ・IM単位で共通の活動が出来ないか？現在、クラブ単独で同じ団体に活動しているが、これを合同で出来ないか？
- ・子供達よりもっと切実に援助を必要としている事例について、等。

最後に岩田PGによる本日の委員長会議の講評と謝意で締め括られました。



研究グループ交換委員会
委員長

吉川 邦英
(大阪RC)

3月27日（土）に団長クリス・ミーラー団長に率いられたチームが到着しました。今年度はテキサス州オースティン市（州都）を中心とする第5870地区が当地区のパートナーです。州の面積が日本の2倍近いところですので州内には4つの地区があるそうです。

テキサスチーム歓迎晩餐会の場で大谷Gが次のように述べられました。

『ロータリーのプログラムでGSEは大変意義深いものであるが、今年度テキサスとの交換を強く望んだのは次の2つの理由があります。ひとつは日本で最初の東京RCを1920年に設立された米山梅吉氏はテキサスのダラスRCのメンバーとしてロータリーを体験したことがきっかけとなったこと。もうひとつは自分(大谷G)が医学の勉強の為、40年前テキサスのヒューストンに3年間滞在した折の素晴らしい思い出が、今も強く残っていることです。』

同様にご挨拶いただいた近藤RI理事エレクトもオースティン名誉市民として心温まるテキサスの思い出をご披露されました。

月信が皆様のお手許に届くころにはテキサスチームは帰国し、入れ替わりに佐藤団長に率いられた第2660地区チームがテキサスを訪問しています。

現時点ではテキサスチーム滞在第2週目ですが、地区内各RCのお世話により実りのある受け入れプログラムが無事進行中です。FriendlyでWarm Heartなメンバー達ですから素晴らしい交換体験となることと確信しています。同様に第2660地区チームもテキサスで終生忘れることのない素晴らしい体験と友情交換を実現してくれる事でしょう。



写真：3月28日（日）歓迎晩餐会
（シティプラザホテル）
D5870/D2660
GSEチームメンバー集合写真

～赤ちゃん人形（タータン人形）寄贈～ 地区補助金「受付番号DSG13（09-10） 市内の老人福祉施設に供する赤ん坊人形の寄贈」

ガバナー補佐

青木 禎一郎

(大阪フレンドRC)

去る3月3日、今年度IM第7組11RCは、大阪なにわRCの提案により昨年度に引き続き、共同社会奉仕事プロジェクトを、大阪市浪速区の特別養護老人ホーム『アシステンツァ桜川』『なにわ』中央区の『さくら』、西区の介護老人保健施設『健勝園 九条』に各3体のタータン人形(注1)の寄贈が行われました。滋賀県立大学 人間看護学部 畑野相子准教授、まほまほドールセラピー研究会 代表 御船泰秀様、大阪なにわRC 吉川会長はじめ(6名)、大阪難波RC(樫畑会長・白野幹事)、大阪本町RC(野中幹事)、大阪うつぼRC(村上会長)、青木ガバナー補佐の計13名。そして報道関係より、毎日新聞社 稲生記者、産経新聞社 服部記者にご同行を頂きました。

各4施設で、タータン人形を代表で3名の入居者の方に贈呈し、中には涙を流す方、子守唄を唄いながらあやしている方、「私は今年で100歳です。孫がないから、この子は私の孫」といって人形を抱きしめて離さない方もおられました。

この取り組みは、認知症高齢者の方に対する症状悪化防止に非常に役立つと、各施設の方々に喜ばれました。今年度、大阪なにわRCの岡本幹事をはじめ、大阪なにわRCの皆様には大変お世話になり、本当に有難う御座いました。

来年度も是非、IM第7組の共同奉仕事活動を継続していきたいと思えます。

(注1) タータン人形とは、ドールセラピー(人形療法)に用いられる赤ちゃん人形。



青少年交換委員会
委員

小林 博隆

(大阪梅田RC)

昨年8月に世界各国から来日した来日学生も半年が過ぎ、日本にも、日本語にもだいぶ慣れてきたころです。

ふだんは通学している学校とホームステイ先との往復で、なかなか来日学生同士が交流できないので（日本情報の習得？）、来日学生同士の交流のため、また次年度日本から世界へ派遣される派遣候補生との交流を兼ねて、ROTEX（派遣学生OB）に手伝ってもらい、信州白馬へ4泊5日のスキーツアーに行ってきました。

前回から他地区にも参加を呼びかけ、他地区の来日学生との交流も図りました。

今回のスキーツアーは、当2660地区からは来日学生7名、派遣候補生3名、ROTEX 7名、ロータリアン3名、計20名と、第2680地区（神戸、姫路、淡路）からは来日学生7名、ROTEX 1名、ロータリアン4名、計12名で、総計32名となりました。バスを一台チャーターして移動し、昼は終日スキーとスノーボード、夜は温泉と合同夕食会でおおいに盛り上がりました。来日学生の皆さんもリフレッシュできたことと思います。

ほとんどの来日学生（16～18歳）は、スキーやスノーボードは初めての体験で、3日間、終えたときには皆上達し、そして良き友と出会い、満了したツアーだったと思います。

私としては、良い思い出を作ってあげてうれしく思っています。来日学生の皆さんはきっと親日家となり、将来、彼らの自国と日本との架け橋として大いに活躍してくれることを期待しています。



地区米山奨学委員会より

2010年2月末	全国寄付金合計額
	1,064,240,933円 (前年度比13.83%減)
2010年2月末	第2660地区寄付金合計額
	63,356,434円 (前年度比2.47%減)
2010年2月末	全国寄付金合計トップ10
1.	第2650地区 77,663,091円
2.	第2660地区 63,356,434円
3.	第2590地区 62,746,286円
4.	第2750地区 57,714,205円
5.	第2760地区 54,931,041円
6.	第2770地区 50,388,516円
7.	第2580地区 44,062,379円
8.	第2780地区 38,528,428円
9.	第2640地区 36,624,500円
10.	第2820地区 35,365,000円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2010年2月)

氏名	回数	クラブ名
澤村 繁	2回目	枚方 RC
榎本 幹男	1回目	守口イブニング RC
金沢 英富	1回目	大阪城東 RC
中村 容子	2回目	大阪城東 RC
岡 俊紀	3回目	大阪城東 RC
西條 仁久	2回目	大阪城東 RC
司馬 久義	1回目	大阪城東 RC
梅本 久美子	3回目	大阪城東 RC
小林 俊明	2回目	大阪中之島 RC
村橋 義晃	1回目	大阪中之島 RC
古市 仁	5回目	大阪西北 RC
中谷 庄八	8回目	大阪西北 RC
奥野 武久	4回目	大阪西北 RC
上田 宏二	5回目	大阪西北 RC
浜 博英	1回目	新大阪 RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2010年2月)

クラブ名	回数
守口イブニング RC	4回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2010)

中山 浩志	大	阪	城	東	RC	2/19
柳瀬 寛之	大	阪	城	東	RC	2/19
妙中 茂樹	大	阪	西	北	RC	2/26
上田 博司	大	阪	西	北	RC	2/26
増山 忠雄	豊		中	南	RC	2/19
吉村 直樹	豊		中	南	RC	2/19

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2010)

江原 誠三	2回目	大		東	RC	2/19		
鷺森 董	2回目	大		東	RC	2/19		
西條 義昭	1回目	大		東	RC	2/19		
田中 啓之	2回目	大		東	RC	2/19		
上田 陽造	2回目	大		東	RC	2/19		
片岡 大	1回目	東	大	阪	RC	2/5		
上田 宏二	2回目	大	阪	西	北	RC	2/26	
勝亦 良彰	1回目	大	阪	西	北	RC	2/26	
山本 榮	2回目	豊	中	南	RC	2/19		
吉田 日士光	3回目	豊	中	南	RC	2/19		
松本 新太郎	5回目	八		尾	RC	2/5		
松本 智幸	4回目	八	尾	東	RC	2/19		
鈴木 洋	4回目	八	尾	東	RC	2/19		
餅野 法善	1回目	大	阪	な	に	わ	RC	2/19
坂本 勝男	1回目	大	阪	な	に	わ	RC	2/19
吉川 仁育	1回目	大	阪	な	に	わ	RC	2/19
小林 雄友	1回目	新	大	阪	RC	2/26		
小湊 收	3回目	大	阪	梅	田	東	RC	2/26
針谷 紘一	1回目	大	阪	中	之	島	RC	2/26
福田 忠博	1回目	大	阪	中	之	島	RC	2/26
堀口 利夫	1回目	大	阪	中	之	島	RC	2/26
犬飼 直之	1回目	大	阪	中	之	島	RC	2/26
小林 俊明	1回目	大	阪	中	之	島	RC	2/26
前田 隆司	1回目	大	阪	中	之	島	RC	2/26
高島 凱夫	1回目	大	阪	中	之	島	RC	2/26
山本 肇	1回目	大	阪	中	之	島	RC	2/26
吉井 宏	1回目	大	阪	中	之	島	RC	2/26

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。
(2010)

谷中 清孝	大			東	RC	2/19	
上野 弘之	箕	面	中	央	RC	2/5	
隅防 嘉之	大	阪	西	北	RC	2/26	
桑田 タア子	八	尾		東	RC	2/19	
北村 佳久	大	阪	東	南	RC	2/19	
北村 薫	大	阪	中	之	島	RC	2/26

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料につ

いてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

——— 地区大会記念講演から ———

- ◎ 「ロータリーの魔法」 ビチャイ・ラタクル 2009 5p (D.2730)
- ◎ 「国際ロータリーの長期計画の中核となる価値観について」 黒田正宏 2009 9p (D.2570)
- ◎ 「クラブの活力の再生をめざして—前橋RCのCLP実践事例」 曾我隆一 2009 7p (D.2510)
- ◎ 「ロータリーと夢」 三井章義 2009 11p (D.2640)
- ◎ 「グローバル化と日本の教育」 中嶋嶺雄 2009 12p (D.2600)
- ◎ 「これからの北海道が生き抜く道」 寺島実郎 2009 16p (D.2510)
- ◎ 「私の夢—世界最高齢でチョモランマに挑む」 三浦雄一郎 2009 14p (D.2510)
- ◎ 「“夢をかたちに”日中友好秘話—梅屋庄吉と孫文」 小坂哲瑯 2009 4p (D.2570)
- ◎ 「日本のこころについて」 境野勝悟 2009 12p (D.2560)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー／PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

〈お知らせ〉

大阪ユニバーサルシティRC

クラブ名日本語表記・メールアドレス・HPアドレス変更のお知らせ

①クラブ名日本語表記の変更

「大阪ユニバーサルシティー」を「大阪ユニバーサルシティ」に変更
(理由: 広く一般的に使われている名称に合わせるため)

②E-mailアドレスの変更 (4月1日より)

新アドレス: ucrc@osaka-ucrc.org

③HPアドレスの変更 (4月1日より)

URL: <http://www.osaka-ucrc.org>

香里園RC

ビジターフィー変更 (2010年4月より)

(旧) 3,000円 → (新) 2,000円

敬弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

細川 益男会員 (大阪南RC)

2010年3月31日逝去 (享年85歳)

会長、副会長、幹事、会員選考委員長

米山功労者 (マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

○今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

・ガバナー	大谷	透
・地区代表幹事	四宮	孝郎
・地区副代表幹事	上田	直樹
・担当地区幹事	増田	國次
・担当地区幹事	池田	輝
・担当地区幹事	阿部	恭三
・事務局長	今井	貢二

2009～2010年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

事務局スタッフ

ガバナー	大谷	透
地区代表幹事	四宮	孝郎
地区副代表幹事	上田	直樹
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保
	大西	麻容

勤務時間

9：30～17：00

休日

土曜、日曜、祝日
夏 期 2010年 8月10日(火)～2010年 8月15日(日)
年末年始 2010年12月29日(水)～2011年 1月 4日(火)

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。
最多 36名
詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

所在地・電話・ファックス

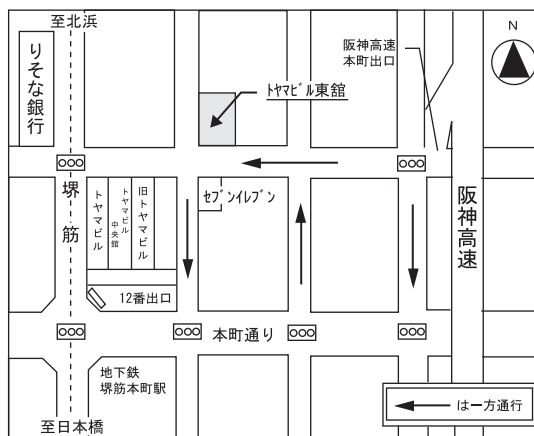
〒541-0052
大阪府中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL:06-6264-2660
FAX:06-6264-2661

ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

2009～2010
GOVERNOR
TORU OTANI

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
TEL:06-6264-2660 FAX:06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F, Toyama Bldg. East, 1-5-11, Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052, JAPAN
Phone: 81-6-6264-2660 FAX: 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp